

令和7年度 多職種連携研修会アンケート結果報告

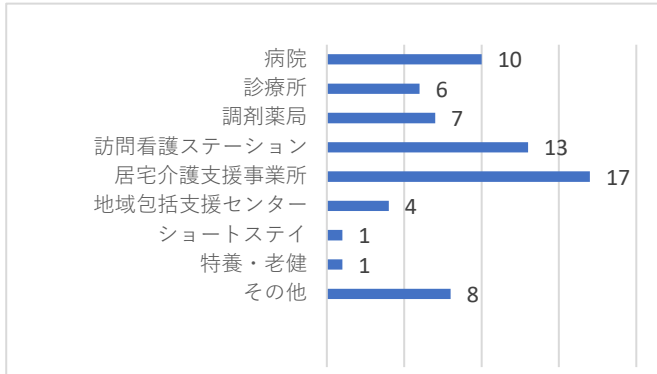
開催日時：令和7年2月19日（木）18時30分～20時30分

研修方法：参集

参加申し込み人数：77名

アンケート回答：67名 回答率：87%

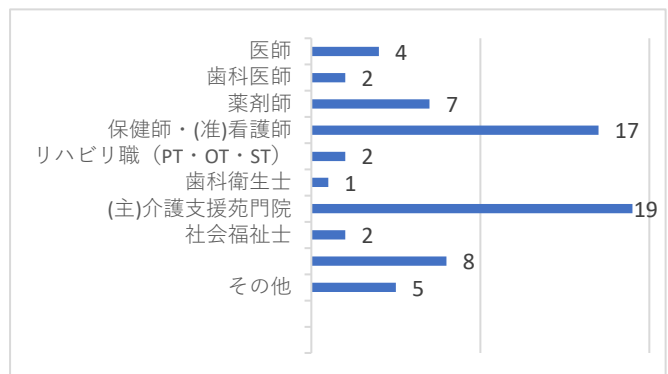
1 事業所種別



その他内訳

福祉用具貸与事務所 3 弁護士事務所 1
司法書士事務所 1 在宅歯科医療連携室 1 行政 1

2 職種別

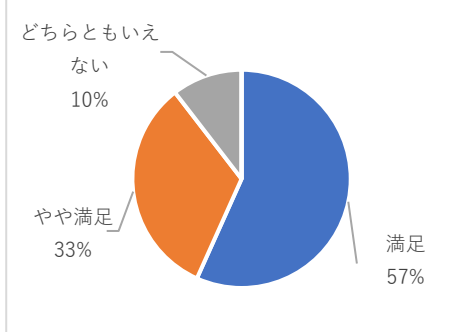


その他内訳

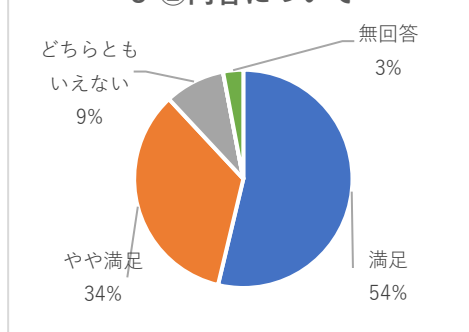
福祉用具専門相談員 3 弁護士 1 司法書士 1

3 研修会について

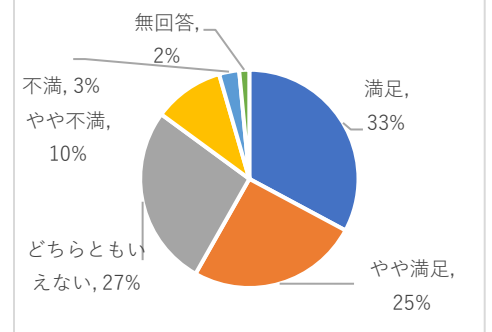
3-①テーマについて



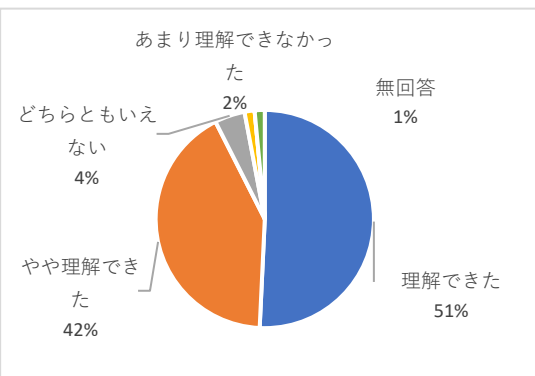
3-②内容について



3-③時間配分について



4 サ高住等の施設におけるチーム支援についての理解



<選んだ理由>

- ・それぞれの専門職がどう活かされているかがとても良く理解できた。(5件)
- ・本人、家族のやりたいことを実現されていて、多職種連携によるチーム支援の力を感しました。
- ・サ高住の役割がよくわかった。サ高住において、チームで役割分担をしてそれぞれの専門性を発揮するのが大切だと思った
- ・多職種と関わっていくことが大切だと感じた。
- ・関わりが少ないため、理解したまでにはいかなかったもので、もう少し勉強します。
- ・チームワークがしっかりできて共有できていることがわかった。このような連携が地域、在宅でも円滑に行われるとい

いと思った。

・サ高住に入所しながら訪問看護や訪問診療等のサービスを組み合わせることで、手厚い医療を受けることができることがわかった。施設でありながら、在宅に近い自由度があり、地域のサービス事業者の方達が本当によく支援していただけたと思った。

・介護士さんは医療行為ができないことから看護師さんの協力が必要となるなど、多職種で協力することでいろいろなことが動いていくことが理解できた。

・連携の重要性について改めて理解できた。(3件)

・日頃の自分の在宅、施設での支援の違いを振り返る機会になりました。

・お互いの得意分野を持ち寄って惜しみなくさらけ出すことが大切

・質問したかった。

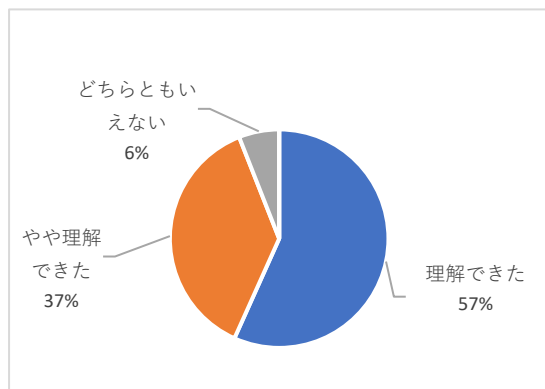
・サ高住の仕組み、役割について理解できた。(10件)

・サ高住について介護など施設の中のサービスがわからなかった。

・多職種間での情報共有の大切さを感じた。スライドにページ番号がふってあると見やすいと思いました。

・普段お会いすることの少ない先生方や薬局の方など、この機会があったことで貴重なお話を聞くことができました。

5 グループワークの内容についての理解



<選んだ理由>

・多職種連携や、本人、家族の意向を知る手段としてグループワークは参考になった。

・多職種ごとの一日の煩忙時間帯が把握できた。

・活発な意見がでた。

・他の職種との関わりが大事

・情報共有、本人の意向の尊重が大切だとよくわかった。

・とても役に立つ内容が話せた。

・その人の思いを尊重し関わっていきたい。多職種との連携の大切さを改めて感じた。

・他の職種の意見や考えを知ることができて勉強になりました。

・本人、家族の意向をどう情報を共有したらよいか知りたかった。

・各専門職の意見が聞けて良かった。多職種との意見交換は有意義だった。(13件)

・もう少しワークする時間がほしかったです。(5件)

・どのように共有しているか、発信しているか、悩んでいるか理解できた。

・それぞれの現場での話が聞けたので良かった。施設に訪問することが増えてきたので、それぞれの施設の違いも理解できた。

結果・考察

「施設入所中の高齢者へのチーム支援を考える」をテーマに研修会を開催した。医師、訪問看護を含む参加者のアンケート結果から、サ高住のチーム支援についての理解度は93%と高く、理由として「サ高住の仕組みと役割が理解できた。」「連携の重要性が理解できた。」「専門職がどう活かされているか理解できた。」また、「各専門職との意見交換が有意義だった。」「多職種連携や本人・家族の意向を知る手段としてグループワークは参考になった。」「他の職種の意見や考えを知ることができ勉強になった。」など、グループワークについても理解度は94%と高く、多職種間での情報共有や協力関係は推進した。しかし、一部の参加者から、「グループワークの時間が足りなかった。」「質問の時間が欲しかった。」との意見があった。次年度は、時間配分を考慮し継続していく。